

N校の教育方針

N校校長 奥平博一

N校について

- 4月が生徒数少なく3月が最も多くなる。
⇒途中入学者がおおい＝通学校退学者が多い
- 茨城県つくば市にS高等学校の設置
- N校、S校の名前に意味はない。

- 通信制高校といわない理由
通信＝悪いというイメージが拭えない

生徒数について

- N校16000 S校6000で計20000名ほどの生徒在籍数
スタッフ数1600名ほど

N校について

- 200以上のコンテンツを準備してある。
- 大学合格者も多数いる（進学校ではない）
- N校S校になった瞬間不登校ではなくなる。
- 評価軸が変わる事で子供の承認欲求が満たされていく。
- 海外の大学への進学も多い。トロント大学（カナダ）モナシユ大学（マレーシア）UCSD（アメリカ）マンチェスター大学（イギリス）など名門も多数。

N校について

- 現状の公立中学のすべての資料が紙媒体。
データ化できていない現状でGIGAスクール？
⇒コトです。
- 映像学習と確認テストの繰り返しをしレポートで評価
：授業力がある先生の板書説明でのオンライン教育を科目ごと
全国に配信できる。
- オリジナル版とネット版の教科書を作成しレベルに見合った教育ができる。
- 管理ページで、学習上の疑問などを一括管理（マイページは保護者も見れるようになっている）

スクーリング・VR・課外学習

- 全てオンラインで行うことが現在の教育で法整備できておらずスクーリングが必須となっている。
- 農作業やJAXAなどの特別授業もある。
- 仮想空間での英会話などはリアリティが表現されるので言語の理解度が飛躍的に上がる。
- 留学、スタディーツアー、プログラミング、WEBデザイン、動画クリエイターなど多種多様な課外学習（200以上のコンテンツ）で学ぶことができる。

ネット部活

- 政治部：菅前総理が同時刻に講義している。
- 投資部：投資を学んでいる
- 起業部：実績として数名起業している
- Eスポーツ部：アジア大会で金メダル⇒賞金が出る⇒親が喜ぶ
- 研究部：

文化祭・イベント

- 実行委員会があり開催する
- オンライン上でのネット遠足やネット運動会などオンラインで行っている。
⇒先生がゲーム下手なので子供が先生を守るといようなケースもできさらに双方の人間関係の構築ができる。

地域活性化

- スクーリングで全国から人が来るのでその地域の活性化に繋がる（ホテル、観光地、飲食店など）
- 行ったことがある場所となるので将来本人、子供、孫と長期的に設置地域のPRと第二の地元としての過去の生徒の生きやすい場所となる。
- 廃校の利活用ができる。（ネットがあれば可能）

意見交換

- 年齢は？
⇒ 15～18が多い（転校生も含む）
- 財政的には？
⇒ 苦しい。安く沢山来てもらいたいからOK。群馬県桐生女子高校跡地を3校目に予定している。
- 支援？
⇒ 公金などは一切ない
- GIGAスクールなど公立高校へのアドバイスは？
⇒ もう使うしかないですね。

意見交換

- 学習障害者は？
⇒ 限界があるのは事実であるが、親なども巻き込む中でできることが多い。
- 子どもの心境の変化にどう気づいていくか？
⇒ トラブルに関しては覚悟している。オンライン上でのパトロールなどを行っている。生徒と先生が密でやり取りしている。
⇒ 携帯電話などの現状利用しているものを普通に認められていく為の形づくりが必要。
- 活力の変化？（俺）
⇒ 自己肯定感が高まる為生き返っていつている。生徒を否定しない。オンラインダンス。